令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分)(国補 県単 (都) 大手二丁目浅原橋線 事業名 街路事業「街路事業(国補)] 甲府市中央4丁月 地区名 事業主体 山梨県 事業箇所 (柳町工区) ④特記事項(関連事業概要等)

当初計画 現計画 変更計画 計画期間 $H30 \sim R7$ $H30 \sim R13$ 総事業費 2,100 百万円 百万円 3,300 百万円

(1)事業の概要

①事業目的及び効果

本路線は、甲府市大手二丁目から中央市西花輪に至る14.9kmの道路であり、 甲府都市圏域の幹線道路ネットワークにおける環状道路の一部を構成する南北方 向の主要な幹線道路である。しかし、当該工区は幅員が狭く、慢性的な渋滞が発 生している。また、歩道も狭く、歩行者及び自転車の通行に危険な状態となって いる。当該工区の終点部で事業中である(都)和戸町竜王線と併せて改良を行う「 ことで、中心市街地と郊外とを結ぶ交通ネットワークが強化され、交通が円滑化 するとともに中心市街地の活性化についても効果が期待できる。

□主要目標 ○市街地内の交通の円滑化

自動車交通量 9,523台/12h

>7.387台/12h(平日)以上※

混雑度 144>125以上※

※評価基準値

□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保

□副次効果 ○良好な景観の創出 ○バリアフリー化の促進

○ライフラインの強化

②事業概要

L=200m W=6.0(18.0)m 道路改良

車道3.0m(2車線) 歩道3.5m (両側) 道路幅員

電線共同溝工 一式

③全体計画

		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降
現計画	工事内容	測量設計 調查 用地取得•補償 電線共同溝工事 道路工事	補償 電線共同溝工事 道路工事	
	事業費	1,990 百万円	110 百万円	百万円
変更計画	工事内容	測量設計 調査 用地取得・補償 電線共同溝工事 道路工事	用地取得•補償	用地取得·補償電線共同溝工事 道路工事 舗装工事
	事業費	1,947 百万円	60 百万円	1,293 百万円

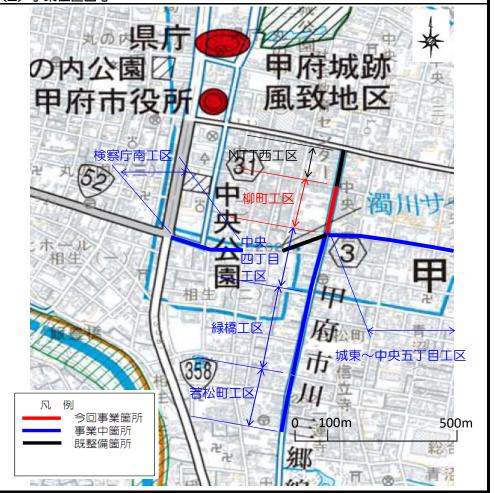
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

- (都) 大手二丁目浅原橋線【中央四丁目工区】【緑橋工区】【若松町工区】
- (都)和戸町竜王線【城東~中央五丁目工区】【検察庁南工区】

⑤これまでの評価状況(平成29年度事前評価)

中心市街地と周辺地域とを結ぶ交通ネットワークが強化され、交通の円滑化が 図られるとともに、中心市街地の活性化についても効果が期待できることから 事業の必要性は高いと評価でき、実施が妥当である

(2) 事業位置図等



2.評価シート(1)

(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化

(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

①地域・住民の意向状況

なし

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

「山梨県総合計画」(令和5年10月)

「山梨県強靱化計画(改訂版)」(令和6年3月)

「山梨県社会資本整備重点計画(第四次)」(令和4年9月)

「山梨県道路の整備に関するプログラム」(令和7年3月)

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

(2) 評価時点の費用対効果分析

	項目		着手時点		着手時点		変更計画時点		変更計画時点		
			(柳町工区)		(NTT西工区~若松町工区)		(柳町工区)		(NTT西工区~若松町工区)		
総事業費			2,100	百万円	10,580	百万円	3,300	百万円	11,780	百万円	
工期			H30 ~	30 ~ R7 H30 ~ R16		H30 ∼ R13		H30 ∼ R16			
	評価基準年		H29		H29		R7		R7		
	費用		1,630	百万円	6,560	百万円	2,990	百万円	9,550	百万円	
経済効率性		建設費	1,620	百万円	6,510	百万円	2,970	百万円	9,470	百万円	
			維持管理費	10	百万円	50	百万円	20	百万円	80	百万円
		その他(百万円		百万円		百万円		百万円	
	便益	•	1,850	百万円	7,057	百万円	2,140	百万円	9,856	百万円	
		走行時間短縮	1,660	百万円	6,610	百万円	1,930	百万円	9,230	百万円	
		走行費用減少	80	百万円	340	百万円	100	百万円	480	百万円	
		交通事故減少	0	百万円	0	百万円	0	百万円	0	百万円	
		その他※	110	百万円	107	百万円	110	百万円	146	百万円	
		B/C	1.13		1.08		0.72	·	1.03		

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.O以上

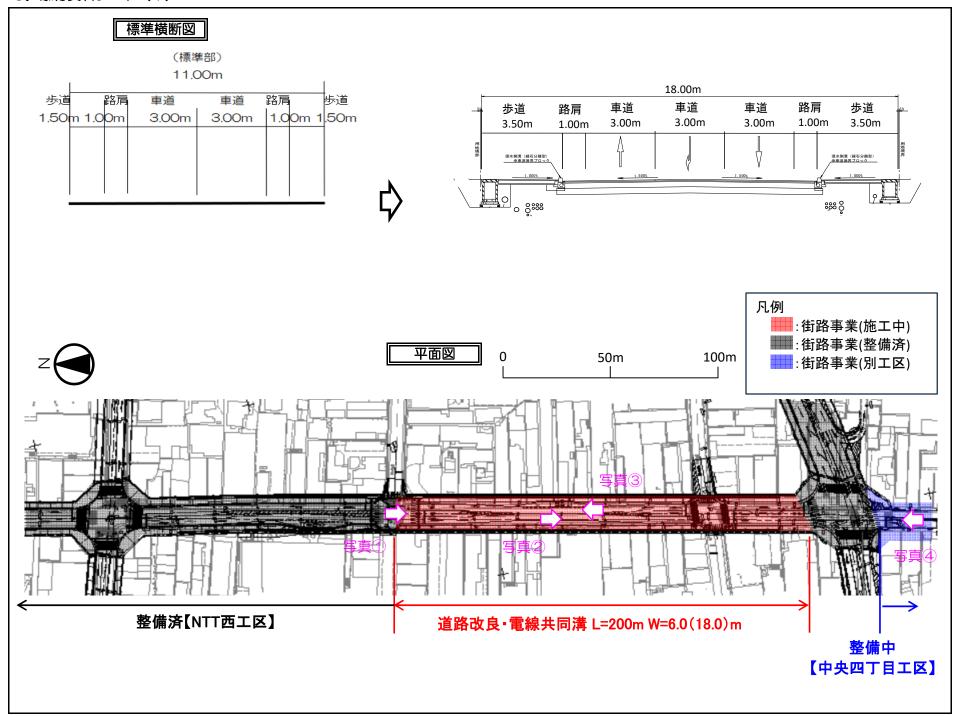
柳町工区単独で算出した費用対効果(B/C)は基準値を下回ったが、本事業はNTT西工区から若松町工区までを一体的に整備することで事業効果が発現するものであり、工区全体を対象に費用対効果分析を行ったところ、B/Cは1.03であった。

※その他は、Co2排出削減便益、都市空間快適性向上便益

(3) これまでの計画変更等の概要

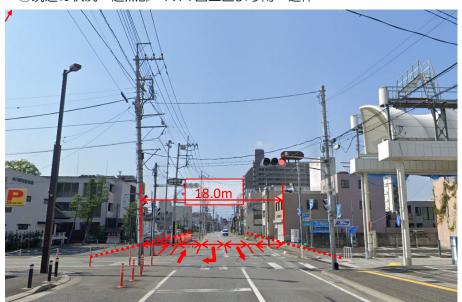
評価シート(2) (4) 事業進捗状況及び見込み (5) 環境負荷等への配慮 ①進捗率 本区間の周辺は、古くから市街化されている区域であり、自然環境への影響は 少ない。 別表のとおり。 R7年度進捗率(現計画) 100%→(実績) 95.6%→(変更計画) 60.8% ②進捗率実績が計画と相違している理由 用地取得の遅れにより、進捗に遅延が生じている。 (6) コスト縮減の可能性 なし ③総事業費の変更内容 変更理由 変更工種等 事業費増減 当該地区は商業地域であり、営 1,200 百万円 増 業を伴う補償が多く、補償額が 補償費 増大した (7) 代替案立案の可能性 百万円 増減 なし 工事費 合 計 ④事業期間の変更理由及び進捗予定 用地取得が遅延したことにより、進捗が遅れたため、事業期間を6年延長し、 令和13年度の完成を目指す 継続 ・ 見直し継続 ・ その他 ((8) 所管部の今後の方針 (理由) 現在、9割程度の用地が取得済みであり、地域の期待も高いことから、事業を継 続し、変更計画にもとづき令和13年度の完成を予定している ⑤今後の事業執行における留意点 地権者への補償説明の継続 〇別表-進捗率(事業費ベース) 算出方法:【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位:% R08 R09 R10 R11 R01 R02 R03 R04 R05 年度 H30 R06 R07 R12 R13 21.9 36.2 55.7 75.2 94.8 100.0 3.8 7.6 計画 現 実績 12.0 34.7 60.5 81.2 85.8 92.7 95.6 60.8 80.5 89.6 変更計画 63.8 71.4 95.7 100.0 *事業着手年度又は評価年度 *R7年度の実績は見込み

3. 添付資料シート(1)

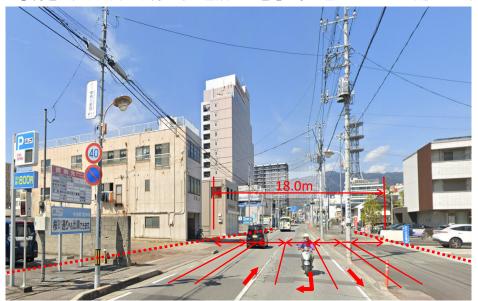


3.添付資料シート(2)

①現道の状況 起点部 NTT西工区より南へ延伸



③現道の状況 用地取得できた箇所から道路工事に着手している(北を望む)



②現道の状況 用地取得できた箇所から道路工事に着手している(南を望む)



④現道の状況 終点部 (都)和戸町竜王線計画との交差点



4.年度別事業費内訳表(変更計画の内容)

年度	変更事業費	事業概要	進捗率
	(千円)		(%)
H30	77,369	測量、設計、調査	2.3
R1	175,090	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	7.7
R2	475,971	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	22.1
R3	541,897	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	38.5
R4	435,247	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	51.7
R5	95,417	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	54.6
R6	145,946	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	59.0
R7	60,000	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	60.8
R8	100,000	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	63.8
R9	250,000	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	71.4
R10	300,000	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	80.5
R11	300,000	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	89.6
R12	200,000	用地、補償、電線共同溝工事、道路改良工事	95.7
R13	143,063	道路改良工事、台帳作成	100.0
合計	3,300,000		